

FOR ADULT ONLY

R.P.R138TH BOOK





なんで私
素直になれないんだらう



ちくしょう
昨日はあいつ
好き勝手
言いやがって…

うっ
イライラしてたら
何だか…

…誰も
来ないよな？

二日続けて
見舞いに来るなんて
ちよっと変かなあ…

っホン
来てやった
わよ

ド
ニ

!!

ななななな
何やつて
んのよ!?!?

ちよつ…
うわああつ!!

本当に最低ね!
カス! 変態!
ケダモノ!

そこまで言うか…

しまった…
またケンカ腰に
なっちゃった

し仕方がねえんだよ
男つてのは2、3日に
一度はその…

…仕方ないわね

あなたの怪我は
私にも責任が
あるしね

ちよつ…
何やつて
んだよ!?!?

私が責任取るって
言ってるのよ

ト

責任とって
あなたのせ…せ…
性処理を…!



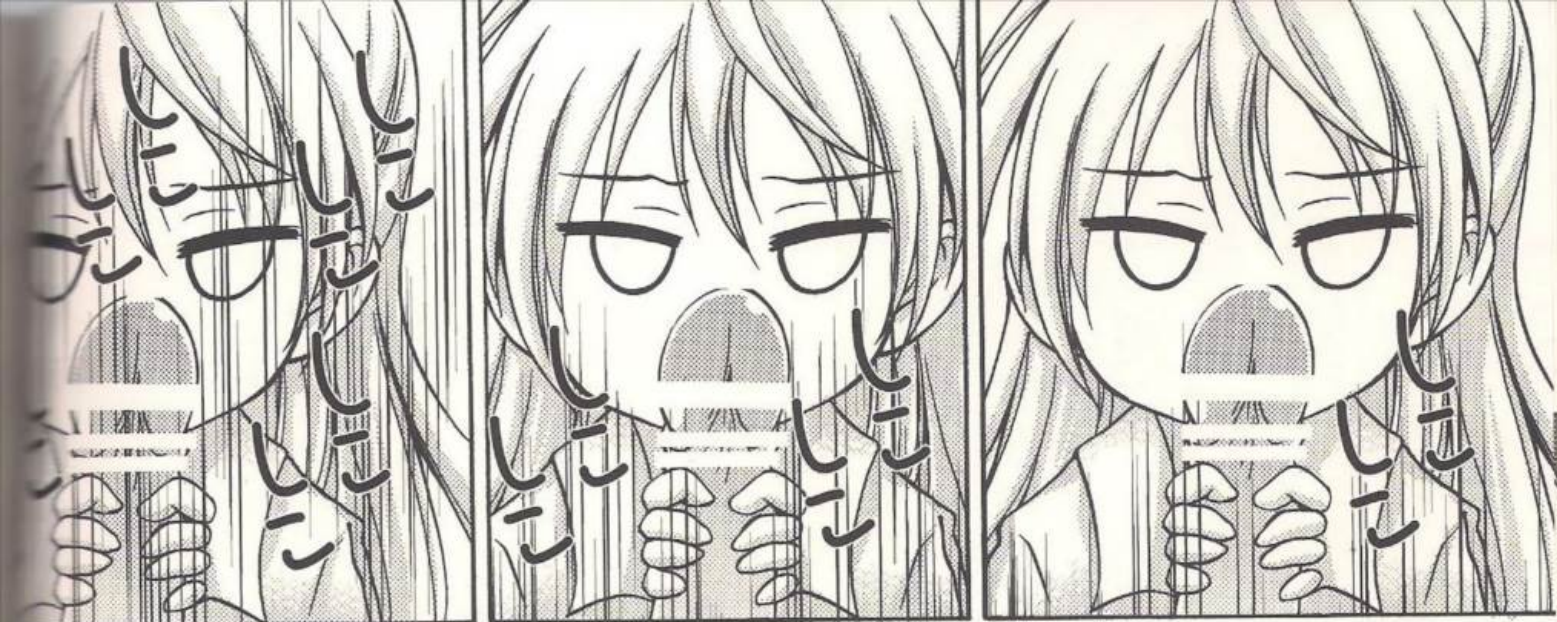
擦れは
いいんだよ



本気よ
ここれを…



何言ってるんだ!
三度なのか!?



やつぱり
胸なわけ?
このサレ!!

なんで
そうなる!?

無茶
言うなよ!!

早く
出しなさい
よ!!



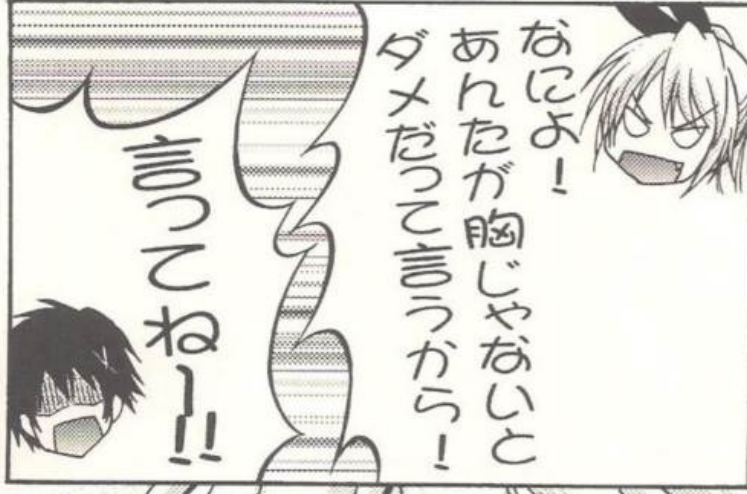
んっ...

おおい
桐崎...?

うおっ
すげえ柔らかい!
でも俺には
小野寺が...!



おいっ
やめろって…



なによ！
あんたが胸じゃないと
ダメだっこの言うから！

言うてねー！！



おきに
サレなんだから…

ぬ

ざ

や



おおおっ！！



んんっ



おおい
そんない



うっ
すまん…

あ
あ
あ

と
と
と

と
と
と

し
し
し

し
し
し

私の顔に
ぶっかけるのは
いい度胸か

ちよ

私でも
ちやんと感じて
くれてるんだ…

…って
何でまだ
元気なのよ!?



ホントにこのエロザルは...

し仕方ないだろ！
ずっと溜まって...

すまん

...わかったわよ

え？
何が？

気の済むまで
出せば？
最後まで
付き合っわよ

はあ!?

しゅわ

おいおいおい!!!

動かないでよ
うまく入らな
んっ!

おまっ
本気で…!?

す…す…す

待て待て待て待てっ!!

んっ…
じゅじゅー!

あ
あ
あ



お前
まさか
初めて...!?

痛い...
痛っ...

あ

ギッ

ギッ
ギッ



当然でしょ!
私はそんな軽い女
じゃないわよ!

だったら
俺と...?

ズッ

あ



そそれは...!
いいからさっさと
出しなさいよ!

あ

こいつは何を
考えてんだ？
サッパリ分かんねー！

それより俺には
小野寺という
心に決めた人が
いるのに……！！

それなのに……！！

きゅん

きゅん

うっ！
気持ち
良すぎる……！！

はあ

うあ

お前
辛いだった
もうやめ……

うるさいっ！
それよりあんた
どうなのよ！

気持ち良
くないの！

そりや
気持ち自
けど……

アキ

ズキ

ズキ

ズキ



本っ当に
わかんねえ！
でも胸もあそこも
気持ち良すぎて
もう…もう…！



だっだらもっつ
ガッ付きなさい
よ！

何言って…
ムゲゲ！



もう
どうにでも
なれ！





な何よっ
急にやる気
出して...!

お前が
始めたんだろ!

今さら
やめるのが
言いがち

いわないわよ
...ひっ!

あちっ



あちっ

あちっ

んあっ

あちっ



あぁっ
も...もう
ダメエ!!

あっ...

あぁあぁあぁん

ぬるぬる

ぐわんぐわん



千棘の魅力は
時間経過式正統派ツンデレと
金髪ロングと
黒ニーソですねっ！





わわっ…一条君が布団の中にツ…



何お前…

先に寝ちゃったわけ？

たっくそんなに眠かったら家に帰って寝りゃ良かったのに…



…あれ？

お前まさか制服のまま寝てんの？



—千棘—

—そう—
一条君は今
布団の中にいるのは
千棘ちゃんだと
思っている…！



こそい

るりちゃんの提案で
三人の定期デートを
つけることにな
ったんだけど…



最近 一条君と千棘ちゃんは
以前にも増して親密になっていった…



私だけ一条君の
家の人に見つかり
お客として
家上げられて
しまったの…



10分だけ日本による？
分かったすぐ行くわッ!!

えっ
ママが帰ってくるの!?



廊下で千棘ちゃんの話声が聞こえた!



残された私はいけないと
分かっていても…
一条君の部屋を覗いて
しまったの…



まいつか後で説明すれば!

あーもう楽の奴…
いつまでシャワー浴びてんのよ!

よくは聞こえなかったけれど
千棘ちゃんは一条君に
断りもしないで帰ってしまった…

そこはなぜか
雨戸を閉め切った
真っ暗な部屋で…

中央には布団が
一組だけ
ひかれていた…

この部屋の意味は…

何となくだけど
…分かった

千棘〜シャワー
空いたぞ〜!?

悲しいのだ
パニックになったのどで

私は有り得ない行動を…

千棘〜?

…よりもよみって

隠れちゃった…

―布団の中に

制服
こわになるし…

脱がねーと汚れるぞ？

っはぁ

すっ

こうして私は…

「家の中の匂いの在国の中…」

この匂い…

シャンプー
変えたか？

あっ…

「二条君の息が耳元で…」

いつもより甘い匂い
どこかで嗅いだような…

家の匂い



一条君とキスしちゃった
どうしよう私…

ちゃんと事情を説明しないと…

うっっ

うっ…



まいったか!

!?!?



今だ…

今言わないと…

まさか今度は
盗聴器かよ!?



…起きてんだろ?

何で黙ってんの?



カメラって何?

それって犯罪じゃっ…

お前ん所のクロードは
何でもするからな!

カメラを見つけた時は
焦ったよなー!

こうして暗く
しちまえば
こういうこととしても
撮られる心配はねーけど…

とっ! 盗聴器ツ!?



千棘
千棘



んっ
んっ

「どうしよう!」



ふっ
ふっ

今更私は千棘ちゃんじゃ
ないなんて言えないよ...



千棘...
ほら...

カキカキ
カキ



口で頼む

えっ...
これって一条君のツ
さめ

何だらう
全然見えないけど...
一条君の足があつて...



だめッ…

もう十分に取り返しがつかないのに

そんなことしたら私はもう…

おっ…何だよ？

また嫌だって言うのか？

く



頼むよ

このまま
入れたりしたら

中に出しちゃったり
するぞ？

ああっ

ほっぺに硬いのが…



熱気がすごい…

頭が…真っ白になる…
こんなの…おかしいのに…

んっ

く





私こんな所で何してるんだらう...
千棘ちゃんにも二条君にも悪いよ...こんななの...

うあっ...



...舌の感触が
すごくいい
そんな舐め方
初めてだな...

二条君が...
気持ちよくなってる？



...もっと
気持ち良く
させたいな...

千棘...

お前舐めるの
上手くなった？

そっか…
一条君は今
千棘ちゃんに
舐められてると
思ってるん
だよね…





うあああっ!?—

んっ…
ぶっ…



ぬるぬる

ぶっ—

ぬるぬる

ぬるぬる



二条君の

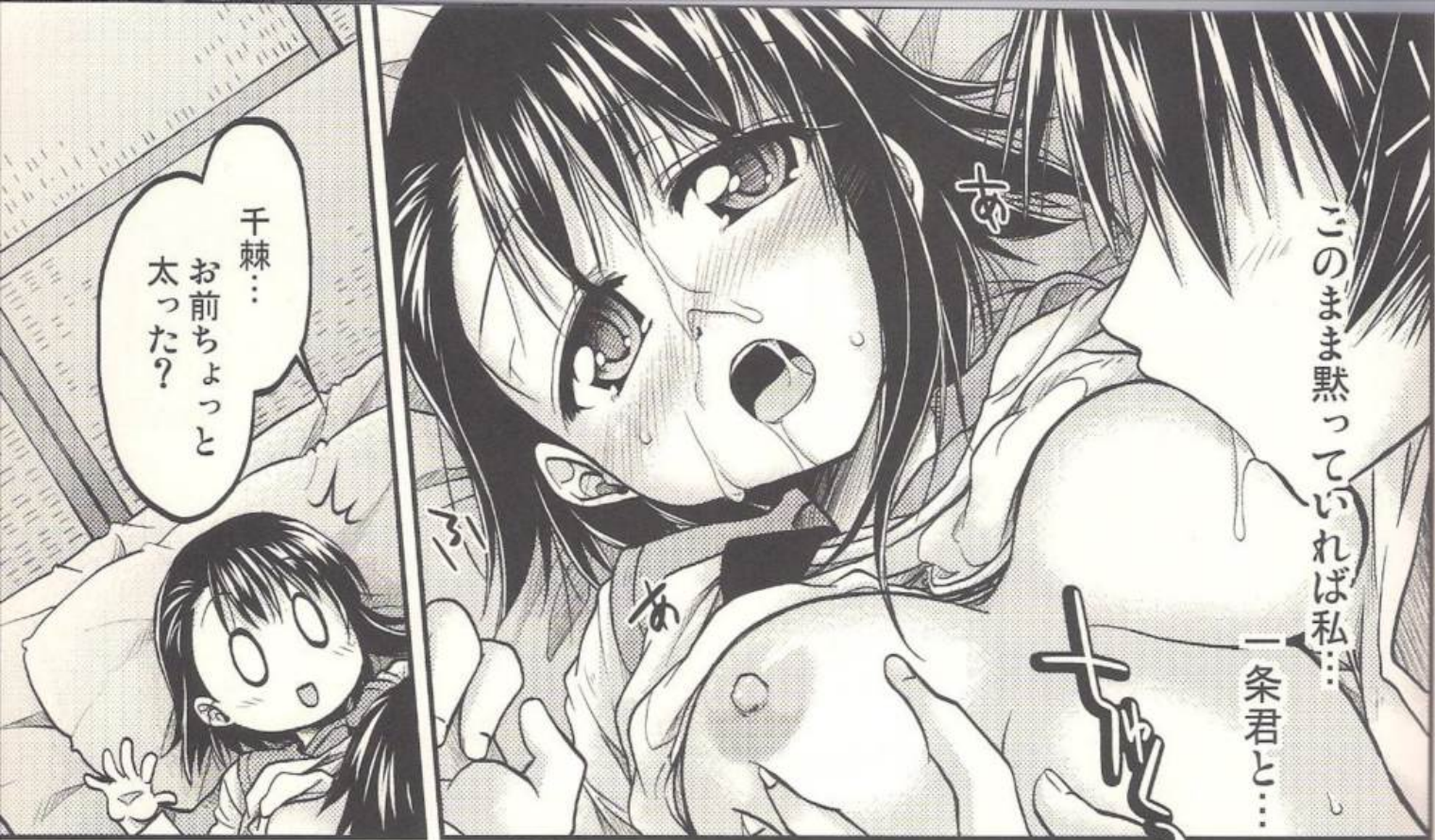
飲んじやった

んっ



はあ
ぶっ

はあ





もうだめ…
一条君への気持ち
止められないツッ!

うあ…
ああ…

ぬぐ

びくびく

ぬぐ



一条君のおちんちんが…はいっで…くる

んっ

すしゅ
びくびく

っはー



ふあ

あっ

ああっ



あんっ

んっ

だめっ…



ふっ

声が出ちゃった…!

—気持ち良い…



イツちやうう〜ツ!!

ビクッ

ビクッ

?

ビクッ

ビクッ

っんあ……あーツ!!

だめっ……まだ私……

ビクッ

あっ

ビクッ

ビクッ



もうイヤなんだのよ...

んっ...

ふっ

グワッ



んっ

んっ...

んっ



もう我慢できないッ...

あっ...

いっ一条くっ...

いっ...ああッ

ひゃああああッ…!!

イツちやつああ…!!

あ…あ

あッ

はあ

あ

あッ

あッ

あッ





一条君も...

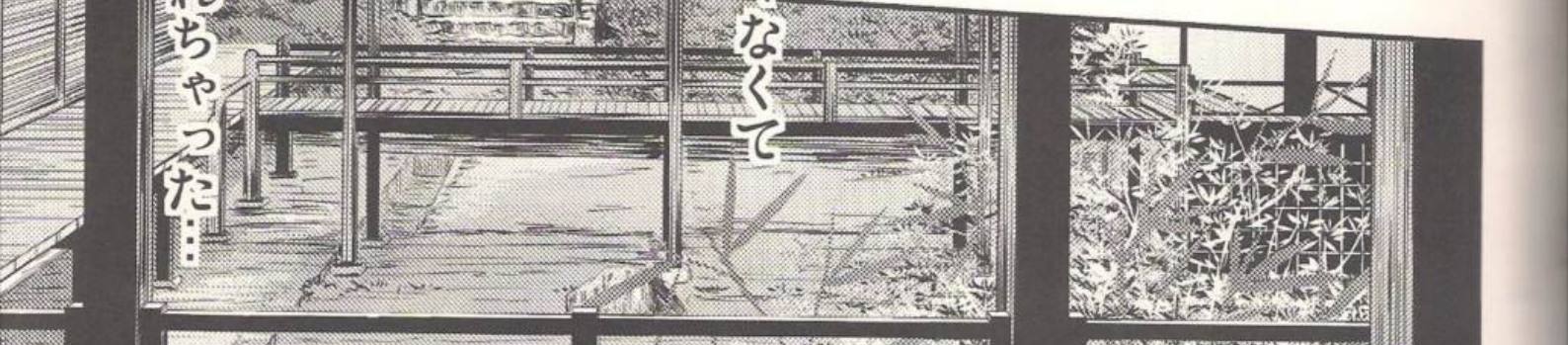
はあ
イツてるのかな...



膣内なに出されちゃった...

小野寺小咲わとして居いなくなつて

膣内なに出されちゃった...





あとがき

というわけで唯一苦手な食べ物が
こんにゃくな
小野寺さんを描きました。

実はこの原稿が完成するまでに
約24Pほど
ページ単体としては完成状態にあるが
話が續かずに断念した四本の
漫画がありました。

一本は千棘の話

5Pほど描いて断念

理由はやくざが出張りすぎ

一本は万理花メインの話

7Pほど描いて断念

理由は万理花が出張りすぎ

一本は誠士郎の話

4Pで完成でしたが

前回よりも前に描いた物で

時間を置いてしまったために

絵が見れたものではなく

そのまま亡き物に…

絵もアレですが

理由はクロードが出張りすぎ

そして小野寺の話を

8Pほど描いたが気にいらず

途中でこの話にチェンジ…

理由はるりちゃん出張りすぎ

当たり前ですが
ちゃんと話を完成させてから
ペン入れしていれば
いいだけなんです…

出張らない小野寺さんのおかげで
ようやく完成しました！

ありがとう小野寺さん

作saku

